

事故ゼロのシルバーを目指そう！

安全就業面から見て、精華町シルバー人材センターのこれまでの安全就業振りは「85点」の出来だったといえましょう。初年度としてはまずまずの成績と評価できますが、軽微なものとはいえ3件の事故が発生したことが満点を取れなかった理由です。1件の事故の裏には十数件の「ヒヤリ」「ハッ」とした作業が隠れているとされています。大事に至らなかった幸運に感謝すると同時に、今年は事故ゼロをめざして、安全就業を徹底しましょう。

7月18日夕、会員が運転中のマイクロバスが駐車していた乗用車に接触。

7月27日午後、草刈機で作業中に小石をはね、民家の窓ガラスを破損。

9月8日朝、自転車で通勤途上に転倒して肋骨にひび。

いずれも被害程度が軽微だったのは幸いでした。もっとも、会員が少し注意すれば防げた事故でもありました。

全国シルバー連合会の調べによりますと、平成14年度中に発生した死亡及び入院6ヶ月以上の事故は38件。就業中が18件、就業途上のものが20件でした。会員数が増え、仕事量が拡大するにつれて、事故件数も増加傾向にあります。事故防止のため各地のシルバーは安全就業対策に積極的に取り組んでいます。精華町シルバーも出来るだけ早く安全就業推進員の配置や安全委員会を設置して、会員の安全就業を組織的に支援していきたいと考えています。

もっとも、安全就業に一番効果のある対策は、会員一人ひとりが「安全は自分の問題」と自覚することです。仕事を選ぶ段階から、安全を重視しなければなりません。安全は自分で守ることが原則であり、センターの指導・助言は側面的援助にしか過ぎません。

事故に遭うと、本人や家族はもとより、同じ仕事をしていた会員、センター事務局、仕事を依頼した発注者にまで苦痛を与えることとなります。事故防止は会員に課せられた最大の責任です。安全就業に徹して、今年も仕事に励んで下さい。